



きくのはな通信  
10月号 《年少》

## 年少組の見えない力が育っています

### 『サラ粉・どろだんごから得る経験』

園庭でざるをもってうろうろ。かまど前や砂場で乾いた砂を探して。

しゃがみこんでサラ粉を作っています。まだまだ作り慣れていないのであるのでざるに残った小石をざーっとサラ粉の中に入れて「あっ！」とやってしまった顔をしている姿も見られます。

サラ粉は作ったそのあとはスプーンですくってお皿に入れたり、お鍋に入れておたまでかき回している姿があります。



最近になって年上の子を見よう見まねで泥だんごを作る姿があります。水が多くてべちゃべちゃの泥だんごだったり、水が少なくななか固まらなかったり。

でも子ども達はみんな嬉しそうに「みて！できた」と自分で作った泥だんごを見せてくれます。

近くにいる年中や年長のお友だちが心配そうに様子をうかがっていたり、アドバイスをしてあげている姿も見られます。

異年齢のお友だちと関わることで年上の子に憧れを持ち、年下の子を気にかけている姿がたくさん見られます。

ここでは試行錯誤してみて、自分の経験値を高めてゆきます。経験したことを用いて創造する力につながっています。



『おにごっこ・かくれんぼ』 ルールのある遊びから社会適応能力が育ちます

こちらも年上のお友だちが遊んでいるのをまねして遊びが始まっています。今みんなが夢中になっているのはおにごっこやかくれんぼはもちろんですが、『おに決め』です。みんなで足を出し合って「♪おにきめおにきめ…」と年長さんがやっているのと同じようにやっています。

「♪おにきめおにきめ…」とゆびで足を差して行くのですが言うことに必死になりすぎて同じ足を何回も連續でさしていたり、鬼がしたいから最後は自分るように調整していたり…大人からしたらちょっとずるい」と思ってしまうかもしれません、年少組なりにいろいろ考えて遊んでいます。



いざ鬼ごっこが始まるとさっき鬼を決めたはずなのに…誰がおに？と思うくらいみんなで先生を追いかけていたり。かくれんぼでは早く見つけてほしいから、「ここでーす」と早々に出てきたりと。ルールなどは気にせず、「おにごっこかくれんぼをみんなでやっている。」というみんなで何かをすることがのが楽しい時期です。



年長組になるとどろだんごは何日も何日もかけてひび割れしても修復して、1つを大切に大作っています。

おにごっこは先生なしで自分たちだけでおにを決め、3クラス混ざって誘い合って遊んでいます。今の年少組の姿が年長組の姿につながっていきます。



きくのはな通信  
10月号 《年中》

# 年中組の見えない力が育っています

## ～考えて工夫する～ 『おみせやさんごっこ』

幼稚園のいたるところでお店屋さんごっこが盛んにおこなわれています。年中組でも、アイスクリーム屋さん、ジュース屋さん、パン屋さん等、様々なお店ができて「いらっしゃいませー！」と毎日にぎやかな声が聞こえてきます。



あか組 アイスクリーム屋さん

きみどり組 ジュース屋さん

だいだい組 パン屋さん・くじびき屋さん



他クラスのお店屋さんに行ったり、絵本を見たり、お祭りや買い物に行って経験したりする中で、子ども達からの“やってみたい”的声が出てきます。どうしたらやりたいと思っている事ができるのかを先生や友達と相談して少しずつ形にしてきました。時には上手くいかない事もありますが、みんなで相談して良いなと思った意見を取り入れてみたり、協力して用意をする姿もあり、「友達と一緒に」目的に向かって遊ぶ楽しさを感じてきている様子もあります。

お店屋さんが完成すると、さっそく販売開始！お部屋に呼んだり、移動販売をしたり、出店の方法はそれぞれ。「いらっしゃいませー！」と声を聞いて〈なんのおみせ？〉〈これください！〉とお客様の声を聞いてやり取りをする事を楽しんでいます。

下の学年のこについては「これもあるけどどう？」と優しく接する姿があったり、商品の説明をしていたり、相手を思いやりながら「関わっています」それを繰り返すことで様々な関わり方を知るきっかけにもなります。

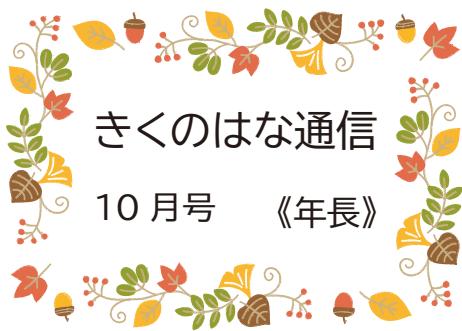
始めはやり取りをする事を楽しんでいますが、何度もやっていくうちに課題も出てきます。先生が“この方法だとやりにくそうだね”“もっと本物に見えたならステキかもしれないね”と言葉を投げかけたり、絵本や本物のお店屋さんの写真を用意するなど提案をする事で、みんなの方からもアイディアが出てきます。「わかりやすいようにメニューつくったよ」「ほんものみたいにできていおいしそうでしょ！」と改善していきました。

お店屋さんのやりとりだけでなく、先生の助けを借りながら、友だちと一緒に「もっとよくするために」と考える力もついてきている様子です。



自分のクラスのお店屋さんだけでなく、他のクラスのお店屋さんにも参加して一緒に店員さんをしてしたり、刺激を受けて子どもたちだけでお店屋さんを用意している様子もあります。

単に売り買いの経験ではなく、他クラスの子どもと交流することにより、いつものメンバー以外の人ともやりとりや交渉すること、折り合いをつける事など、人間関係の調整力が培われます。



きくのはな通信

10月号 《年長》

# 見えない力が育っています

～考えて工夫する～

## 『どろだんご』

～どろだんごから育つ力～

5月の通信でもお伝えした『どろだんご』。

2学期になってもまだまだ熱い人気を得ています。



引き続き1つのどろだんごを何日もかけて大事に大事に作っています。

ある程度形が整ってきたら布を使い丁寧にこすり、ピカピカのどろだんごを目指しています。

最近はひびが入ってもすぐに「もうあかんわ」と諦めてつぶしてしまうのではなく、

ひびが入ったところに水垂らしてまたサラ粉をかけたり、

泥をつけたりまた復活すると知り、根気よく修復する姿が多く見られます。

また園庭を見回すとサラ粉だけを作っているお友だちもいます。

「それどうするの？」と尋ねると、

「〇〇ちゃんが泥だんごを作っているから、わたしてあげる」と

サラ粉づくりに徹しているお友だちや「これみんなで使うために集めてる」と

自分が使う用のサラ粉ではなくみんなでシェアして使う用に集めているお友だちもいます。



サラ粉作りに専念

ひび割れには水や泥をつけて修復

どろだんご作りはただの「遊び」として見がちですが、この「遊び」を通じて、工夫したり、考えたり、人と関わったり見えない力の蓄積につながります。

～経験から発展へ～

## 『おにごっこ』



園庭の端や砂場では泥だんご作りをしているお友だちがいますが、真ん中やスロープ付近ではおにごっこが盛り上がっています。

今まででは園庭のあちこちで数人ずつで鬼ごっこをしていましたが、

2学期になり運動会も経験し、他のクラスとも関わる機会がより増え、自分たちで声を掛け合い3クラス混ざって鬼ごっこをする姿が見られます。

経験したことを繰り返し→そこから新しいオリジナルルールなどのアイデアを付加し「遊び」を発展させてゆく、そんな力が育っています。



～創造力の育ち～

## 『どんぐり制作』

好奇心・探求心  
の  
芽生え



森のおさなご広場で拾ってきたどんぐりを使っていろんな活動をしています。

皮をむき中の白いところをざるで削り！どんぐりクッキーを作ったり！

ケーキを作ったり！コマや笛も作りました！

さらに好奇心に火がつき「こんなにもできるんやって」と家で調べたり聞いてきたことを幼稚園で教えてくれて先生と一緒に作って遊んでいます。



笛を作るために  
くりぬいているところ



段ボールとどんぐりを重ねた  
どんぐりケーキ



どんぐりの中を粉にし  
作ったどんぐりクッキー